

会派行政視察報告書

報告者	小林昌子
視察日	平成18年12月25日
視察先	柏原市
参加者	大橋涼子、浜田千秋、小林昌子
視察目的	柏原市駅前再開発について

調査内容及び所感

和泉府中駅前再開発と同じ第2種市街地再開発事業を行っている柏原市を訪ねました。柏原市は駅前大幅見直しを掲げた現市長が2005年3月11日に就任、その後特定建築業者の西松建設と何度も交渉の結果、柏原市の財政を考慮し現計画に落ち着いた経緯があります。

この事業を和泉市と比較すると以下ようになります。

項目	柏原市		和泉市		
施工面積	1.1ha		2.3ha		
予定事業費	88億4千万円		168億7千万円		
幹線街路	幅員 7～19m 延長 154m		幅員 16～25m 延長 330m		
区画街路	幅員 9m 延長 137m		幅員 5m 延長 約200m		
駅前広場	3,413㎡		7,317㎡		
駐車場	128台		360台(公用110台含む)		
分譲住宅	93戸		150戸		
敷地面積(㎡)	街区1 3,460(㎡)	街区2 674(㎡)	マンション 商業・公益 駐車場 全体で約6,900(㎡)		
建築面積(㎡)	2,958(㎡)	224(㎡)	約4,820(㎡)		
延建築面積(㎡)	20,466(㎡)	1,228(㎡)	約35,200(㎡)		
用途	商業・業務 公益・住宅	駐車場 交番			
最高高さ(m)	約45m	約38m	60m	30m	30m
階数	地上14階 地下1階	地上1階・2階	20階	5階	5階

私達が訪問した時は、年末の忙しい時期にも拘わらず、駅前再開発事務所の吉田所長以下6人と議会事務局の方が親切に対応してくださいました。

約1時間強、柏原市の駅前再開発の変遷と現況をお聞きし、その後現場の見学を行いました。

当初は関連事業費を含めて147億円の規模であったが、財政の危機的状況もあり、特定建設業者との度々の話し合いにより、当初予定の約1/2の市負担でいけそうとの話でした。

又JRの橋上化には約16億円を要するが、JRの負担は非常に僅かであり、今後の

交渉で何とかしていきたいとの思いも伺いました。

又駅前住宅は70㎡を主に2,700万円から2,800万円の価格帯で即日完売となり、今はキャンセル待ちの状況とのことでした。

事業協力者選定委員会は9人の委員の内、外部委員は4人で特定建設業者選定委員は4人全員が外部委員と聞き、和泉市との違いを認識しました。

又余談ですが、現市長就任後は役所の雰囲気、仕事の進め方が大いに变化したそうです。マイナスも含め情報は市民の物との考えに立ち、広報等で積極的な情報開示を行っているそうです。そう言えば手にした柏原市の12月号広報誌には駅前開発について「市民の皆様のアイデアを待っています」として、公共施設の床は内装費を含め坪当たり180万円もかかっており、市では価値のある有効な使い方をしたいと考えています。お手紙、Eメールでアイデアを送付してくださいと掲載されていました。

又平成18年度に市民公募委員10名からなる「柏原市行政評価委員会」を立ち上げ、施策評価の結果報告もされていました。その見出しにはこんなに違った！「行政」と「市民」の視点！市はこのギャップを埋めるために頑張ります！！と自己評価の甘いことを反省し、市民の指摘に応えようとしています。

これらの記事から、市民との協働を進め、真の市民参加の行政運営をしていこうとの強い意志を感じました。

折しも2007年4月1日からは「柏原市まちづくり基本条例」が施行され、市民とのパートナーシップに基づき、それぞれの役割を自覚し、お互いの意見を出し合い、より良いまちづくりを目指そうとされています。

今後の柏原市に大いに期待し注目していきたいと思いました。

